

日時：平成30年(2018年)8月8日(火) 13:30~16:15

場所：市役所 3-3 会議室

欠席委員：なし

傍聴者：2名

委員	<p>開会</p> <p>では、第3回宝塚市行政評価委員会を始める。</p>
委員	<p>傍聴希望者の確認</p> <p>傍聴者はあるか。</p>
事務局	<p>本日の傍聴者は2名である。 既に入室してもらっている。</p>
委員	<p>では、本日の次第に従い、審議を始める。 審議を始める前に緊張をほぐすためにアイスブレイクを行いたいと思う。 ＜アイスブレイク 1分間トーク テーマ：無駄な政策とはなにか。＞</p>
委員	<p>議題1「第2回行政評価委員会まとめの確認について」</p> <p>では、議題1「第2回行政評価委員会まとめの確認について」審議を行う。 事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>＜第2回行政評価委員会のまとめについての説明＞</p>
委員	<p>それでは、各細施策のまとめの記載内容についてそれぞれ確認を行う。</p>
委員	<p>まず、『1 道路網の総合的な検証を行い、主要道路網整備に関する基本構想を早急にとりまとめます』について、各委員から修正はないか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員	<p>『2 計画的、効果的な道路整備を進めます』について、各委員から修正はないか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員	<p>『3 公共交通の利便性向上を図ります』について、各委員から修正はないか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員	<p>『4 すべての人にやさしい、安全で快適な道路環境づくりに取り組みます』について、各委員から修正はないか。</p>

委員	<p>下から、2行目について、“自転車に関する道路環境整備について、どのような取り組みをしているかを評価表に記載する必要がある”と修正して欲しい。</p> <p>また、最終行は、“この細施策の自己評価は進んでいるが順調ではなく推進に向けて対応策が必要とのことであるが、どの事業が順調でなく対応策が必要なのかを評価表に具体的に記載する必要がある”と修正して欲しい。</p>
事務局	<p>それぞれ、修正を行う。</p>
委員	<p>『5 道路構造物や橋りょうの点検を適切に行い、長寿命化を推進します』について、各委員から修正はないか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員	<p>議題2「平成30年度行政評価（平成29年度実施分）について」</p> <p>次の議題に移る。議題2「平成30年度行政評価（平成29年度実施分）について」審議に入る。</p>
事務局	<p>本日の審議対象施策は、「市街地・北部整備」、「住宅・住環境」である。</p> <p>担当室長より施策の説明の後、質疑という形で進める。</p> <p>< 施策の説明 ></p> <p>< 各施策審議 ></p>

<p>【基本目標】安全・都市基盤</p> <p>【施策】市街地・北部整備</p> <p>【施策展開の方針】『1 市街地における都市機能の集約や効率化、中心市街地を核とする地域の活性化を推進します』</p>	
委員	安倉上池地区の土地区画整理事業が完了するのは何年頃になるか。
市街地整備課長	造成工事が平成35年度に終了予定なので平成36年度には完了すると見込んでいる。 中山寺駅地区の事業は、住人がいたので10年以上かかったが、この地区は田んぼが多いのでそこまで時間がかからないと思う。
委員	事務事業評価表だけをみると中山寺駅地区の土地区画整理事業が、何年経過しているかわからなかった。安倉上池地区における土地区画整理後は、宅地か農地のどちらにするかは決まっているのか。
市街地整備課長	地元の準備組合が色々と思いを持っている。平成28年度に土地利用計画を作っている。地元としては、夜に中山寺が見える景観を残したいとの思いが強くある。宅地分譲するにしても緑が多い住宅地としつつ、営農も行えるよう住み分けを検討すると聞いている。
委員	今後の財政負担についてはどうか。
市街地整備課長	現在は、市が財政負担を行っている。今後については、組合であれば、法人格なので借り入れができるが、法人格を有していない場合は個人の借り入れになる。そのため、市としては、組合が認可されるまで支援を行う。組合認可後は、保留地を売却して事業資金に充ててもらおう。
委員	農地で水を使っていると思うが、土地区画整理を行えば、水利の権利関係が変化し、権利者が少なくなれば維持管理が大変になると思うが見通しはどうか。
市街地整備課長	現在、水利組合と協議中である。 ただし、この地域一帯の田んぼは水路らしい水路がなく、素掘りの水路が走っている。田んぼに水やりをする際には、田んぼ越しでしている。堰を開けても下の田んぼに水が届くのに3日かかる。 市としては、水利関係の整理もさることながら、まずは水路の整備に注力したい。
委員	成果指標の区画整理事業（農住混在地域）の目標値は2で、平成28、29年度は0になっているが、進行状況は“順調に進んでいる”となっているのはなぜか。
市街地整備課長	宝塚市は農住混在地域が多くあり、無秩序な開発が拡大するスプロール化が進んでいるところが多い。兵庫県の都市再開発方針において、計画的な再開発が必要として位置づけられている地区は中山寺駅周辺地区、安倉上池地区の2地区である。目標値の2という数字はこの2地区である。

委員	<p>組合の法人格の認定権者は市である。認可を行う場合は住民の9割の同意が必要である。認可ができていないので成果指標は0と記載している。平成30年の終わりもしくは平成31年春には1になるかもしれない。</p> <p>成果指標は0だが、今後の見通しや進行具合は順調であるという記載をして欲しい。</p>
委員	<p>「ソリオ宝塚駐車場管理事業（再掲）」の駐車場は具体的にどれを指すのか。</p>
市街地整備課長	<p>ソリオ1の阪急百貨店地下駐車場とソリオ4の駐車場である。</p>
委員	<p>阪急宝塚駅とJR宝塚駅のロータリーにある駐車場はどこの所管か。</p>
北部地域調整担当次長	<p>交通安全施設として、都市安全部で所管している。</p>
委員	<p>以前、ロータリーの駐車場の修理がなかなか進まなかった理由を教えてください。また、この駐車場は、ソリオ宝塚都市開発株式会社が管理しているのか。</p>
建設室長	<p>ロータリーの駐車場の管理については、駅前駐輪場の指定管理者であるサイカパーキング株式会社が行っている。修理に時間がかかった理由は、予算の確保に時間がかかったからである。ロータリーの駐車場は、駅までの送迎用と想定しているのでソリオの駐車場とは性格が違う。</p>
委員	<p>「ソリオ宝塚駐車場管理事業（再掲）」について、【評価】の妥当性②の対象の妥当性について“対象者が特定の個人、団体に偏っている”と記載してあるが、「公益施設管理運営事業（仁川地区）（再掲）」と「公益施設管理運営事業（売布地区）（再掲）」では、【評価】の妥当性②の対象の妥当性について“対象者が偏っておらず、市民全体が受益者”と記載しており、どういう違いがあるのか。</p>
市街地整備課長	<p>公益施設は、市内外を問わず誰でも利用できるが、ソリオは買い物客に限定されるため異なる記載をした。</p>
委員	<p>公益施設の指定管理者を公募するため、「サウンディング型市場調査」を行ったとあるが、どういう方法で公募したのか、何社に調査を行ったのか。また、気づいた改善点はなにか。それぞれ教えてください。</p>
市街地整備課長	<p>「サウンディング型市場調査」は関東の方で盛んに行われている手法である。民間事業者を対象に公募を行い、応募者と意見交換を行い、その結果を公表するものである。</p> <p>昨年7月に公募し、6者の応募があった。意見交換の際に、公益施設は利益をほとんど生まない、という厳しい意見もあった。他にも、総事業費が一定の額以下だと</p>

<p>委員</p>	<p>受託しない、という意見もあった。 一方で、公益施設の立地は駅近なのでもっと活用方法がある、という積極的な意見があった。他の質問は、収入や支出の内訳であった。調査で吸い上げた意見を参考に指定管理者の公募を行う。</p>
<p>市街地整備課長</p>	<p>具体的に公募はいつ頃したのか。</p>
<p>委員</p>	<p>平成29年7月14日に市ホームページとPFI・PPP協会に協力をいただき、そのホームページでも行った。7月末に6者の応募があり、8月に意見交換を行い、10月に結果を公表した。</p>
<p>市街地整備課長</p>	<p>厳しい意見を踏まえて改善の見込みがあるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>公益施設はそれぞれ平成11年、14年からの施設であり、年数も経過しているので全館リニューアルをしてほしい、という要望がでてくるかもしれないと危惧していた。 しかし、現状で活性化させるには、大きく補修せずに例えば、壁をきれいにする、椅子をきれいにする、情報をうまく発信するといった、ことを意識し、現利用者にもっと満足してもらうようにすることが大事である、という意見があった。</p>
<p>委員</p>	<p>公益施設についての指標の設定はできないか。もし、設定できないようであれば、進行状況が順調であることがわかるように記載内容を工夫してもらいたい。 細施策における自己評価の各選択肢の選択については概ね良いと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>民間の駐車場が多くある中で市が駐車場を持つ意味があるのか。 公益施設の方に関しても市として関与すべきことなのか。</p>
<p>都市整備室長</p>	<p>駐車場と公益施設に関しては、過去に売却の議論はあった。公益施設については売却をせずに管理方法を変更し、活性化につなげる結論に至った。</p>
<p>委員</p>	<p>この委員会としても、市が公益施設を所有することについて、費用対効果も踏まえて引き続き検討を行ってほしい。</p>

<p>【基本目標】安全・都市基盤 【施策】市街地・北部整備 【施策展開の方針】『2 北部地域の活性化に向けた基盤整備、地域資源の活用や他の地域との交流・連携により地域全体の魅力を高めます』</p>	
委員	ここ数年の北部地域の移住者はどれくらいか。
北部地域調整 担当次長	4月に3世帯、5月に1世帯増えた。ただし、宝塚北SAの従業員である。移住者を増やすには、地域住民が移住者を受け入れる環境整備が大事だと考える。
委員	北部地域の人口はどれくらい減少しているのか。
北部地域調整 担当次長	自然減少だけでなく、社会減少もあるが、この10年間で10%人口が減少している。現在、人口は2,500人を割り込んでおり、高齢化率も42%を超えた。
委員	北部地域への移住者募集のPRはしているのか。
北部地域調整 担当次長	積極的に行っていない。理由としては、集落の考え方に左右されるところが非常に大きい。北部地域全体で、移住者を受け入れる機運になっていないので積極的にPRしにくい事情がある。
委員	昔、開発した住宅地が高齢化に伴い、空き地、空き家になっているところがある。そういう場所に入居してもらえるように誘導してはどうか。
北部地域調整 担当次長	南部の市街地と同様に不動産会社に広告を出している。しかし、それでも入居者がいない。誘導の方法については、引き続き検討を行う。
委員	集落への意識付けはどのように行っているのか。
北部地域調整 担当次長	地域の自治会長と話をする際に今後の家の話や家族の話を持ち出して、問題への意識付けを行っている。
委員	都市部に近いので自治体や地域が移住者を受け入れたいと思えば、手伝いたいという事業者やNPO団体が多くあると思う。そういうところと地域をつなげるのも一つの手段だと思う。
委員	長谷牡丹園やダリア園に関しては、市が運営を行わないといけないのか。一種類ずつの花で園を持たないといけないのか。
北部地域調整 担当次長	長谷牡丹園は市の施設である。宝塚市は古くから花き植木産業が盛んであり、市が整備した。 ダリア園は、佐曽利の園芸組合が運営を行っており、球根の販売をしている。花はゴミになるのでそれを有効活用するためにダリア園を開催している。 平成29年度のダリア園来場者数の減少については、台風と長雨の影響でダリア園

<p>委員</p>	<p>の開催ができなかったことによるものである。</p>
<p>北部地域調整 担当次長</p>	<p>長谷牡丹園も、園芸組合に委託できないのか。</p> <p>地元の農林業組合に指定管理者をお願いしている。高齢化や担い手不足という事情もあり産業として自立するのは難しいと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>北部地域まちづくり基本構想に人口増大と記載があるのに住民が移住の問題意識がないのは、地域と一緒に作っていないか、地域の熟度が高くないかのどちらかである。</p> <p>交流人口の対策はできているのに定住人口の対策はできていないので何か対策をしてほしい。</p> <p>自然休養村センターはどんな目的の施設なのか。もう少し施設を有効活用できないか。</p>
<p>北部地域調整 担当次長</p>	<p>定住人口の対策は、具体的な方法を模索中である。先ほど述べたように地元住民に将来の話を伺うなどしているが、地元の機運を高める、本音を聞きだすことに苦慮している。</p> <p>自然休養村センターは、農業振興施設として農業者の研究あるいは農業観光者の休憩場所として設立された。</p> <p>しかし、本来の目的を見失って有効な活用が図られなかった。また、この施設は、耐震性にも問題がある。現在、有効活用方法と耐震性の二つの課題を解決するための検討をしている。</p>
<p>委員</p>	<p>この細施策の自己評価については、市民との役割分担の妥当性の部分で集落や住民の自主性を尊重しつつ、定住人口の増加に向けた住民の主体的な取組が進むような市の働きかけが一層必要はでないかと指摘したい。</p>
<p>委員</p>	<p>北部まちづくり基本構想の戦略にも訪れたいくなるまちづくり、住み続けたいくなるまちづくりと記載があるようにこれに基づいて、関連課と連携を図りながら施策を進行してほしい。</p>

<p>【基本目標】安全・都市基盤</p> <p>【施策】住宅・住環境</p> <p>【施策展開の方針】『1 安心して快適に住み続けられる住まいづくりを進めます』</p>	
委員	<p>「住宅購入支援事業」について、耐震化というよりも、定住促進の意味合いが強くこの施策には合わないのではないか。また、事業費が約700万円で、見直しを検討しているようだが、今後の方向性はどうか。</p>
建築住宅室長	<p>「住宅購入支援事業」は、この施策に合わないことは理解している。この事業の目的は、宝塚市への定住促進の意味合いがある。親世帯と子世帯が近くで一緒に住む安心感を持ってもらうことが目的である。目標値は50件に設定しているが、平成28年度、29年度も申請件数はあまり伸びず、今年度もあまり申請がないので事業のあり方の検討が必要ではないかと考えている。</p>
委員	<p>家を建てることを要件にせず、移住者を求めるという目的の制度に変更してはどうか。</p>
委員	<p>「住宅政策推進事業」について、人件費が1,000万円となっており高額ではないか。民間に依頼してはどうか。そうすれば、住民のニーズに合ったセミナーを開催できると思う。</p> <p>さらに、事務事業評価表の活動指標と成果指標が”マンション管理アドバイザー派遣件数”となっており、同じ指標なのは不自然に感じる。</p>
建築住宅室長	<p>この事務事業には専属の職員を配置しておらず、他の業務と掛け持ちで行っている。人件費の算出方法は、他の事業と按分しているので正確な人件費については検証が必要である。</p> <p>セミナーを市で実施するか、民間事業者に依頼するかは費用面を含めて検討を行う。</p> <p>事務事業評価表の活動指標と成果指標のご指摘については修正を行う。</p>
委員	<p>職員全員がどの業務にどれくらい従事しているかを正確に把握できるようになることを望む。</p>
委員	<p>指標を見ると、住宅の耐震化率の目標値は97%としているが、現在の進捗ペースで達成できるのか。</p> <p>耐震化が完了していない家の把握はしているのか。また、把握しているのであれば、集中している地区はあるか。</p>
都市整備室長	<p>市としては、個別の状況まで把握できていない。耐震化率は、平成15年の土地統計調査に基づく台帳の総戸数を分母にしており、建て替わった家、耐震改修した家、潰した家を毎年加算して算出している。</p> <p>耐震促進改修計画の目標年度は平成37年度に定めているが、このペースだと目標を達成するのは難しいと考える。</p> <p>このため、自治会へのパンフレット配布、防災活動の際に説明を行うなど、啓発</p>

	<p>に努めている。大きい地震の後には、耐震診断の依頼は増えるが、耐震改修に結びつかないのが課題である。</p> <p>また、簡易耐震診断及び耐震改修支援の実施件数が昨年よりも急増している理由は、マンションの診断が増えたからである。</p>
<p>委員</p>	<p>バリアフリーについては指標を設定できないのか。</p>
<p>建築住宅室長</p>	<p>指標を設定するのは難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>この細施策の自己評価については概ね妥当である。この細施策には“安心”という言葉が入っている。計画策定時には意識していなかったかもしれないが、地震以外の例えば、猛烈な豪雨や竜巻といった災害で屋根瓦が落ちないための屋根の軽量化といった他の災害に対する認識や対策を記載してはどうか。</p>
<p>都市整備室長</p>	<p>竜巻に関しては、宝塚市ではほとんど発生しない。屋根の軽量化は、宝塚市住宅耐震化促進事業のメニューの中に入っている。家自体を耐震化すると大きい金額になるが、部分的な改修例えば、屋根の軽量化や寝室にシェルターを設置するといったことに補助金を出すようにしている。ただ、そういう措置を行っても耐震化率は上がらない。</p>
<p>委員</p>	<p>現在の総合計画は変更できないが、次期計画においては、地震だけではなく、他の災害にも目を向けて策定してほしい。</p>

<p>【基本目標】安全・都市基盤 【施策】住宅・住環境 【施策展開の方針】『2 住まいを適正に維持管理し、良質な住宅ストックを活用したまちづくりを推進します』</p>	
委員	<p>空家については情報発信、利活用、把握の3点が重要と考えるが、指標がなくて施策の進行状況がわかりにくい。空家は、特定空家や利活用できる空家などいろいろあると思う。 空家に対する計画はないように思えたが計画はあるか。</p>
委員	<p>空家等対策事業では相談窓口が設置されており、近所に空家があり、困った住民から相談されることで問題が顕在化するので把握ができる。 一方で、まだ顕在化していない空家をどのように把握しているのか。</p>
建築住宅室長	<p>空家に対する計画は平成29年度に宝塚市空家等対策計画を策定した。空家の実態把握については、平成25年度に自治会の力を借りて空家の実態調査を行った。しかし、自治会間でデータの精度にバラつきがあるという課題は依然としてある。</p>
委員	<p>自己評価について、事務事業構成の適正性の末尾に” 庁内横断的な視点に立った新たな事業展開が必要である” と記載があるが、具体的には何か予定しているのか。</p>
建築住宅室長	<p>管理不全空家であれば担当課の方で対策できるが、利活用方法については、安全性やその他多くのことで部署間の協力や調整が必要なため記載した。</p>
委員	<p>宝塚市南部地域の空家の利活用方法を教えて欲しい。</p>
建築住宅室長	<p>地域活性化を目的として、「空き家バンク」を開設している。宝塚市南部地域の住宅事情は、流通が盛んなので、借りたい人の相談はあるものの、空家で困っている持ち主の相談はない。空き家バンクは、現状機能していない。</p>
委員	<p>空き家バンク自体は必要なのか。</p>
建築住宅室長	<p>宝塚市版の空き家バンクは見直しを行いたいと考えている。 一方で、国の方が全国版の空き家バンクを立ち上げているので、そちらに移行することも検討している。</p>
委員	<p>「市営住宅管理事業」の課題についての記載で、“指定管理業務内容について、住まい政策課によるチェック体制が必要である。” とあるが、現場の声を聞くために担当課の職員が現地に赴き、そこでのチェック体制を強化すると記載した方がいいのではないか。</p>

建築住宅室長	<p>指定管理に移行しても担当課の職員は現地に赴いている。住民の中には、市職員としか面談できない人がいるので指定管理者とは役割分担をしながら業務を行っている。</p> <p>また、指定管理者側と週に1度は協議を行い、情報共有を行っている。</p>
委員	公営住宅に関して、審議会は設置しているのか。
建築住宅室長	入居者の選定委員会はあるが、審議会等は設置していない。
委員	公営住宅管理の行政計画はあるのか。
建築住宅室長	建物の長寿命化計画はある。その中で適正戸数の把握という記載はある。
委員	市営住宅の家賃徴収率が上昇しているが、毎年目標値を達成しないのはなぜか。
建築住宅室長	今年度の家賃徴収率の目標値は98%である。昨年度の徴収率は、96.8%である。市が行っている時よりも数値は上昇している。公営住宅の意義として低所得者への住宅供給という面もあるので、家賃を完全に徴収するのは難しい現実がある。
委員	<p>この細施策は、空家の対策が上手く進行していないことを指摘する。</p> <p>北部地域の空家について、もう少し利活用を考えた方がいいのではないか。</p>
都市整備室長	<p>北部地域は、都市計画法に基づき市街化調整区域に指定している。空家を潰すと再度、家を建てられない制限がある。</p> <p>この課題に対応するために今年度に条例を制定し、家を潰しても届け出があれば10年の間に家を再度建築できる特別指定区域制度を作った。兵庫県でも同様のことをしている。</p>
建築住宅室長	市として、空家の利活用を行う場合、空家自身の安全性を担保しないといけない。空家の多くが新耐震基準よりも前の建物なので耐震改修が必要であり、所有者に対して相当額の負担を強いることが課題である。空家の利活用が進まないのはこういう事情もある。
委員	<p>空家については、一度空家になってしまうと利活用が難しいので、高齢者にパンフレットを配布するような啓発活動を行うなど引き続き予防的な対策を行ってほしい。</p> <p>公営住宅については、低所得者向けの住宅供給という大きな意義がある。それを踏まえつつ、これからの社会情勢の変化や様々な市民ニーズに応じた公営住宅の管理運営に取り組んでもらいたい。なお、現入居者の声を聞くという機能が十分であるかを常に確認する必要がある。</p>

<p>【基本目標】安全・都市基盤 【施策】住宅・住環境 【施策展開の方針】『3 地域特性を生かした個性ある住環境づくりに努めます』</p>	
委員	<p>地区計画を多く作っており、細施策全体の進行が順調なのは理解できる。地区計画を作ったところに、生垣等緑化推進助成金をどのくらい支出しているのかや、どうしているのかを事務事業評価表に記載して欲しい。</p>
都市整備室長	<p>この細施策では、生垣等緑化推進助成金は含まれない。ただし、地区計画が完成した時には、パンフレットで案内している。他には、まちづくり活動の支援制度としてまちづくりアドバイザー派遣、まちづくりコンサルタント派遣、まちづくり活動助成を行っている。助成金の上限は200万円である。平成28年、29年度の助成金は0である。</p>
委員	<p>まちづくり活動の支援制度は、地区計画が完成した時点で満額助成する制度なのか。また、毎年助成する制度なのか。</p>
都市計画課長	<p>住民合意で作る地区計画では、規定ができるまでの3年間で200万円ほど助成している。いつでも対応できるように毎年予算要求を行っている。</p>
委員	<p>宝塚市に住んでおられる委員の皆様はどう感じているのか。</p>
委員	<p>宝塚市では、二つの現象があると思う。 中山台地区では、この2、3年で子供が増えた。理由としては、一戸建ての敷地の範囲制限を緩めたので、一戸建てのところに二戸、三戸と家が建っている。 もう一つは、開発が進んでいる山手台地区である。若い方は、新しく家を建てる時に駐車場を一台から二台、三台と増やすので庭や生垣が減り、緑が減少している。</p>
委員	<p>この細施策についての自己評価については概ね妥当と考える。</p>

委員	<p>閉会 では、本日の審議を終了する。事務局より、次回の委員会の日時、審議内容等について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回（第4回）の委員会は8月24日（金）13：30～16：00、会場は3-3会議室である。施策分野は、「防犯・交通安全」「河川・水辺空間」「緑化・公園」である。</p>